

## 「ICT利活用による地域活性化に関する包括連携協定」の締結について

牧之原市（市長：西原 茂樹）とN T T 西日本 静岡支店（支店長：土井内 裕章）は、ICTの利活用により、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、地域社会の活性化及び住民サービスの向上を図ること、魅力あふれ、暮らしやすさと幸せが実感できるまちづくりを推進するため、包括連携協定を締結します。

## 1. 背景

牧之原市では、2015年度から2018年度を計画期間とした「第2次牧之原市総合計画前期基本計画」を策定し、将来都市像を『絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う N E X T まきのほら』と定め、①「宝子ども育成」、②「輝く高台開発」、③「魅力ある産業雇用」、④「生き活きと健康で活躍」、⑤「公共施設最適化」を重点的、横断的に取り組む重点プロジェクトと位置付け、積極的な事業展開をしております。

また、地域情報化の取り組みとしては、2016年4月に「萩間地区・地頭方地区・勝間田地区・牧之原地区・坂部地区」の光ファイバー網整備事業の公募を行い、N T T 西日本 静岡支店を整備事業者として決定したところです。2017年4月1日までに光インターネット接続サービス<sup>\*1</sup>が提供されることにより、高速で効率的な情報収集や情報発信が可能となり、誰もが情報を共有・活用できるようになります。

<sup>\*1</sup> サービス提供エリアであっても利用できない場合があります。インターネットのご利用には、プロバイダーとの契約・料金が必要です。

牧之原市による光ファイバー網整備事業が進む中、N T T 西日本 静岡支店においても、これまでICT分野で培ってきた経験や最新の技術を活かした地域貢献について検討を進めてまいりました。

このような背景のもと、相互に連携しながら、ICTの利活用による地域社会の活性化及び住民サービスの向上に取り組むことを両者が合意し、今回「ICT利活用による地域活性化に関する包括連携協定」を締結することとなりました。

## 2. 連携協力する内容

ICTの利活用により、牧之原市総合計画に掲げる5つの重点プロジェクトの実現に向け連携協力します。なお、具体的な取り組み内容及び実施方法については、両者で協議のうえ決定いたします。

- (1) 宝子ども育成プロジェクト（子どもを生き育てやすい環境をつくる）に関する事。
- (2) 輝く高台開発プロジェクト（魅力を感じて定住するような住環境を整備する）に関する事。
- (3) 魅力ある産業雇用プロジェクト（安定した雇用を創出する）に関する事。
- (4) 生き活きと健康で活躍プロジェクト（だれもが生き活きと暮らせる地域をつくる）に関する事。
- (5) 公共施設最適化プロジェクト（長期にわたり安全・安心な公共施設提供する）に関する事。

## 3. 今後の取り組み

今回の包括連携協定締結を契機として、協定に基づく具体的な取り組みの策定作業を推進し、地域社会の活性化及び住民サービスの向上へ向けた事業の検討を行います。

住民が安心と安らぎの生活ができる牧之原市の実現に向けて、今後、両者で力を合わせ、地域と一体となった取り組みを推進していきます。

ニュースリリースに掲載されている内容は、報道発表時のものです。  
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。